

「ブックスタート」で赤ちゃんの笑顔広げたい 絵本を開く楽しい体験を



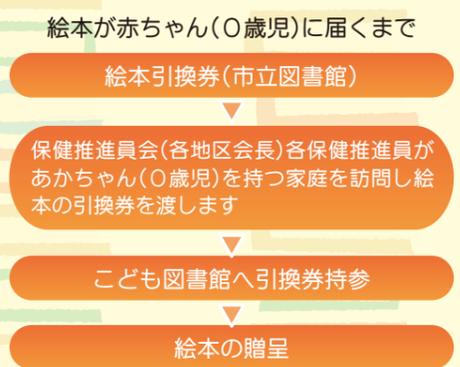
市では、絵本を赤ちゃんと一緒に楽しむことで親子の触れ合い・きずなが深まることを願って「ブックスタート事業」を始めました。そこで、この事業を行っている市立図書館と絵本の引き換えをしているこども図書館(前橋プラザ元気21・2階)取材しました。
担当は市民編集委員杉山・高橋。



問い合わせは
市立図書館 ☎224-4311 こども図書館 ☎230-8833
ホームページは <http://www.tosyokan.city.maebashi.gunma.jp/>
携帯からの検索は <http://www.tosyokan.city.maebashi.gunma.jp/m/>

プレゼント!

この5冊の中から
1冊をプレゼント



こども図書館入口で



「ばいばい」
いろんな動物がいつばい

「くだもの」
季節感あふれる果物の画集

「じゃあじゃあびりびり」
リズムカルなことばの音から
動物や物を連想する

「どうぶつのおかあさん」
母が子を連れ歩く

「いない いない ばあ」
動物が隠れたね

上記の絵本は親子が一緒に楽しみ本に親しむことによる有意義な時間と健やかな成長を願って選ばれました。

「ブックスタート」ってなあに

「ブックスタート」とは、赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃん和絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を手渡す運動のことです。

市では市民ボランティアと図書館員が、赤ちゃんへの読み聞かせの方法などを説明しながら、絵本をこども図書館でプレゼントしています。この活動は、平成4年にイギリスで始まり、日本では同12年の「子ども読書年」を機に始められました。

本市では昨年7月から絵本に親しむきっかけとなるように、5つの絵本の中から無料で1冊を0歳児に贈っています。

0歳児からスタート

この事業は保健推進員が「こんにちは赤ちゃん事業」で0歳児宅を訪問する際に、絵本の引換券を渡しています。赤ちゃんにとってはこれが本に親しむスタートとなります。

保護者の声

- 「こんなにすてきな本があるとは知らなかった。本当に良かった。一生懸命子育てします」と笑顔。
- 「読んであげます」と大変うれしそうに選んだ1冊。
- 「さっそく、読んであげたい」とお父さんから、喜びの一声。

ボランティアの声

こども図書館で絵本の案内をしたり、保護者に絵本を手渡したりしています

- プレゼントした時のお礼と笑顔が励みになっています。
- 赤ちゃんに会えるのもうれしいし、楽しんでやっています。
- 絵本を引き換えに来た人は、夫婦で絵本を選ぶ人が多く、その表情は生き生きとしてとてもいい感じでした。特にお父さんが愛しそうに赤ちゃんを見ている姿がほほえましい。

「ブックスタート事業」の現状は

絵本の引き換えは、前橋こども図書館(前橋プラザ元気21・2階)で毎週土曜日の午後1時から5時まで行

っています。引き換え期間は、1歳の誕生月の前月末まで。これまでの引き換え件数は、359件(平成21年2月1日現在)です。図書館では、「なるべく早めに引き換えに来てほしいですね。引換券を持ってなくても、対象者であることが確認できれば、絵本を渡しているのが気軽に声を掛けてください」と話されていました。

なぜ、こども図書館で引き換えしているの

おとし12月にオープンしたこども図書館は、1フロアでは国内最大級。ユニークな書架や森林機関車のオブジェなどを置き、乳幼児から本に親しめるように工夫されています。市では、この施設をより多くの人に知

て利用してもらおうきっかけができればと考え、ここで本の引き換えを行っています。土曜日には、午後2時15分からボランティアによる「おはなしの会」で絵本の読み聞かせも実施しています。ぜひ、ご参加ください。もちろん無料です。

最近新聞でも報道されましたが、昨年7月から始めた「胎教にオススメ音楽CD」も大人気。妊婦のほか親子連れの利用も多いということです。

みんなが楽しめる図書館を目指して

「子ども参加型イベント」など、館内活動の多くがボランティアによって支えられています。幼稚園(保育所)・小中学校・家庭・地域との連携を進め

ていくためには、市民の協力が必要です。ぜひ、こども図書館を利用してもらい、その活用について、ご意見をお寄せいただきたいとのことでした。

編集後記

本市のブックスタート事業はスタートしたばかりですが、本に親しむことで、計り知れない大切なものがはぐくまれることなのでしょう。前橋プラザ元気21のこども図書館では、多くの利用者と登録者がいることを知りました。親子で親しむ読書活動とそれを支える多くの人にエールを送ります。